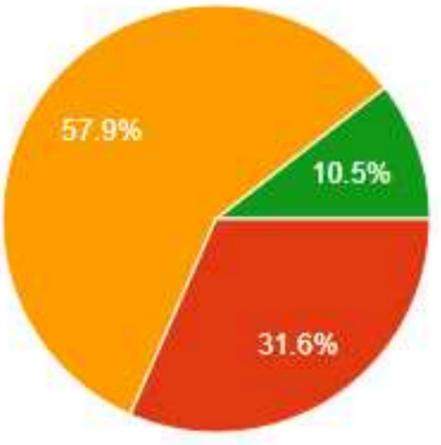
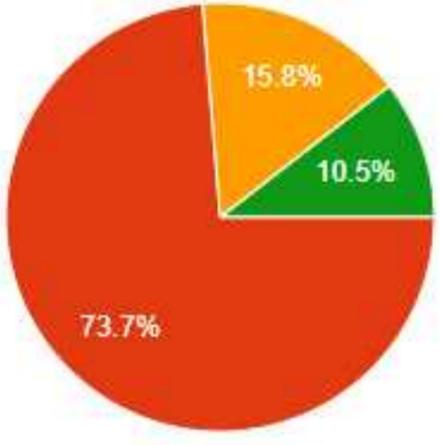
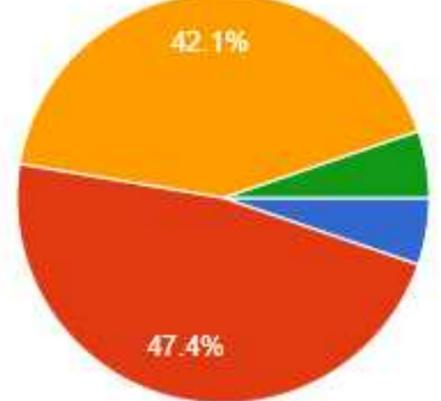
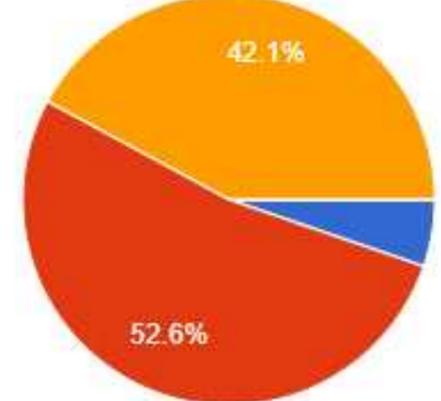
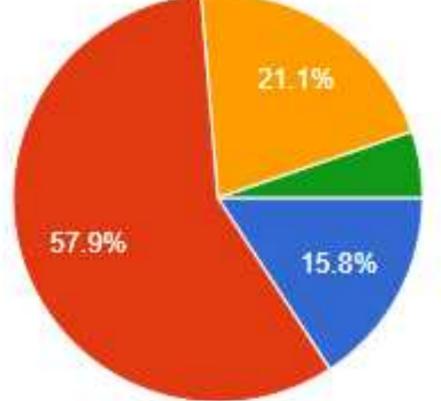
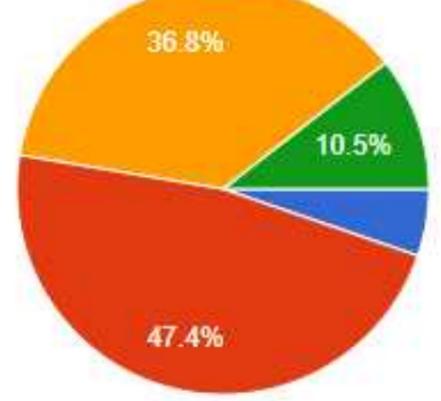
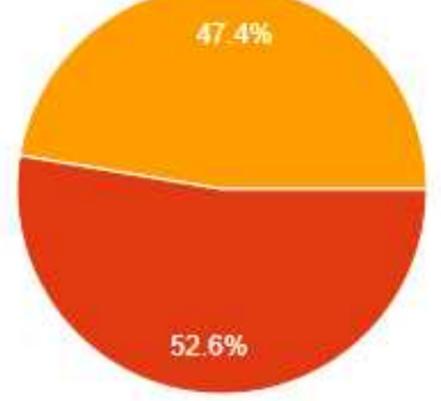
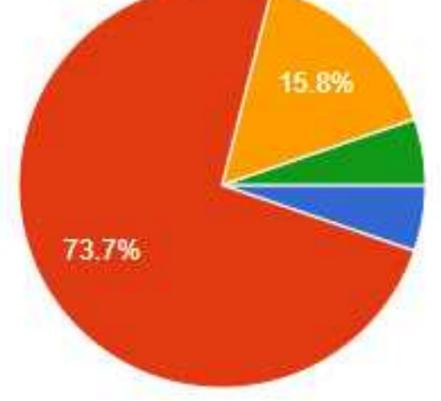
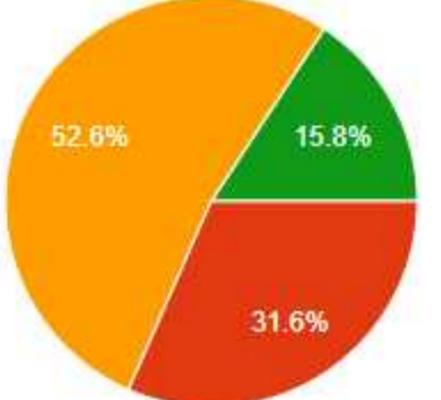


<p>(1) 自分で考え動き出す力</p> 	<p>(2) 関わり感じる力（「ひと」「もの」「こと」との関わり、感じる力）</p> 	<p>● A（達成できた） ● B（おおむね達成できた） ● C（やや達成できなかった） ● D（達成できなかった）</p>
<p>【学習問題の設定】 児童の問題意識に沿った学習問題を設定し追究することで、全体的に追究する力を育てているか。</p> 	<p>【対話的個人追究】 自分の考えを書いたり、分からないことは友達と対話し考え合ったりすることで、協働的に追究する力を育てているか。</p> 	<p>【学習環境の整備】 全ての児童が安心して学習できる授業のユニバーサルデザイン化を行っているか。</p> 
<p>【無言清掃の充実】 清掃活動を通じて、状況を見つめ分析する力や、問題に対して自分で判断し行動する力、最後まで粘り強くやり抜く力を育てているか。</p> 	<p>【心を交わす挨拶】 挨拶を交わすことを通して、人と関わる力、相手の心を感じる力を育てているか。</p> 	<p>【温かく関わり合う学級】 友だちのよさや思いを感じる力を育むとともに、子ども達の人間関係や悩みを把握したり、個々のよさを引き出す取り組みをしたりしているか。</p> 
<p>【地域との関わり、よさを感じる】 地域や人々と関わり、児童の問いや気づき、考えを大切にした「探究的な学習」を実施し、地域のよさや地域に生きる自分のよさを感じる心を育てているか。</p> 	<p>○「自分で考え動き出す力」「関わり感じる力（「ひと」「もの」「こと）」を今年度の重点に据えて取り組んでまいりました。「関わり感じる力」は B 評価が 73.7 % と比較的高い結果となりましたが、「自分で考え動き出す力」は B 評価が 31.6 % と低い結果となりました。また、2 つの項目ともに 10.5 % の職員が D 評価でした。子ども達が動き出していかれるようなスモールステップを伴った授業展開や学習活動、発問を心がけるべきであったという反省が職員から出されました。「自分で考える」という日々の積み重ねを大切にしていきたいと思えます。また、自然と関わる、人と関わる、ものに関わる中で自分を見つめる時間をもつことの大切さも見えてきました。</p> <p>○学習においては、学習環境の整備に関わっての評価が高く、子ども達が安心して学べる環境となってきたことがわかります。しかし、児童が自ら学びを追究していくための手立てについて課題があるので、主体的な学びになるよう、授業向上に努めていきます。</p> <p>○最も課題が大きく残った項目は「無言清掃」と「地域との関わり」でした。清掃の様子を見ますと、最後まで時間いっぱい頑張ろうという気持ちは少しずつ育ってきているように思うのですが、「無言清掃」「気持ちを込めた清掃」には届きませんでした。また、地域とのかかわりは、少しずつ再開してきていますが、体験を生かした発信や学習の発展まで高めることはできませんでした。</p> <p>○最も高い評価となったのが「温かく関わり合う学級」でした。相手の気持ちを慮り、自分とは異なる考え方も認められるような人間関係を築くことができるよう、教職員も温かい気持ちで見守っていききたいと思えます。</p>	